

一般社団法人 協力隊を育てる会

第51回通常総会

【議案書】

第1号議案：2025年度決算承認の件

第2号議案：2026-2027年度役員承認の件

【報告書】

- 1) 2025年度事業報告
- 2) 2026年度事業計画
- 3) 2026年度収支予算

2026年5月26日（火） 於 連合会館



目 次

【議案書】

第1号議案：2025年度決算承認の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
監事監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 7
第2号議案：2026-2027年度役員承認の件・・・・・・・・・・	P 8

【報告書】

2025年度役員、顧問・参与一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 12
2025年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 13
2026年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 41
2026年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 53

注1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、順不同、敬称略にて表記しています。

注2：本冊子では青年海外協力隊をはじめとするJICA海外協力隊を【協力隊】、帰国隊員を【OV】とした
他、全国育てる会ならびに関係団体の名称を一部省略または俗称にて表記しています。

第 1 号議案：2025 年度決算承認の件
監事監査報告書

決 算 報 告 書 (案)

(第 13 期)

自 2025 年 4 月 1 日
至 2026 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	43,908	11,155	32,753
基本財産受取利息	43,908	11,155	32,753
受取入金会金	14,000	28,000	▲14,000
受取入金会金	14,000	28,000	▲14,000
受取会費	6,807,519	4,915,000	1,892,519
正会員受取会費	3,707,600	3,917,200	▲209,600
研修会受取会費	3,099,919	997,800	2,102,119
事業収益	139,254,269	139,512,892	▲258,623
広告料収入	2,684,000	2,521,200	162,800
手数料収入	3,667,466	4,340,969	▲673,503
カレンダー等販売収入	3,097,950	3,471,100	▲373,150
帰国隊員等支援受託収入	67,157,627	63,561,488	3,596,139
クロス編集業務受託収入	58,154,088	55,170,938	2,983,150
GLOBAL SPROUT	16,900	100,200	▲83,300
その他受託収入	4,476,238	10,346,997	▲5,870,759
受取補助金等	3,500,000	3,000,000	500,000
受取民間助成金	3,500,000	3,000,000	500,000
受取寄付金	2,833,655	575,708	2,257,947
受取寄付金	1,025,702	575,708	449,994
募金収益	1,807,953		1,807,953
為替差益	50,203	534,042	▲483,839
為替差益	50,203	534,042	▲483,839
雑収益	5,117,072	54,786	5,062,286
受取利息	40,832	6,775	34,057
雑収益	5,076,240	48,011	5,028,229
經常収益計	157,620,626	148,631,583	8,989,043
經常費用			
事業費	126,063,664	116,315,588	9,748,076
給料手当	49,716,092	41,449,353	8,266,739
退職共済掛金	749,000	717,750	31,250
福利厚生費	6,320,518	5,147,134	1,173,384
旅費交通費	11,928,622	8,154,720	3,773,902
通信搬費	5,679,521	5,749,593	▲70,072
会議費		19,240	▲19,240
消耗品費		18,650	▲18,650
修繕費	1,069,385	1,076,458	▲7,073
印刷製本費	9,478,241	8,686,708	791,533
仕入高	73,224	26,784	46,440
光熱水料	245,183	499,716	▲254,533
賃借料	1,607,209	2,633,831	▲1,026,622
保険料	443,893	256,635	187,258
諸謝金	733,700	1,512,270	▲778,570
租税公課	79,324		79,324
支払負担金	9,900	21,540	▲11,640
支払助成金	7,409,730	7,985,535	▲575,805
支払寄付金	2,000		2,000
委託費	23,111,881	27,273,840	▲4,161,959
雑費	7,406,241	5,085,831	2,320,410
管理費	21,019,659	19,412,976	1,606,683
給料手当	4,452,003	4,483,056	▲31,053
退職共済掛金	201,000	207,251	▲6,251

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福 利 厚 生 費	546,320	552,906	△6,586
会 議 費	81,400	78,760	2,640
旅 費 交 通 費	99,383	93,478	5,905
通 信 運 搬 費	224,781	281,978	△57,197
減 価 償 却 費	233,604	229,680	3,924
消 耗 品 費	151,536	190,476	△38,940
修 繕 費	113,029	116,140	△3,111
印 刷 製 本 費	84,809	84,978	△169
光 熱 水 料 費	245,183	3,500	241,683
賃 借 料	3,961,529	2,917,601	1,043,928
保 険 料	17,476	17,475	1
租 税 公 課	7,330,600	7,194,700	135,900
支 払 負 担 金	2,447,670	1,976,170	471,500
雑 費	829,336	984,827	△155,491
経 常 費 用 計	147,083,323	135,728,564	11,354,759
評価損益等調整前当期経常増減額	10,537,303	12,903,019	△2,365,716
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	10,537,303	12,903,019	△2,365,716
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	10,537,303	12,903,019	△2,365,716
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	10,467,303	12,833,019	△2,365,716
一般正味財産期首残高	52,935,925	40,102,906	12,833,019
一般正味財産期末残高	63,403,228	52,935,925	10,467,303
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	63,403,228	52,935,925	10,467,303

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金預金	21,813,475	13,086,365	8,727,110
現金	45,702	72,348	△26,646
外貨現金		809,962	△809,962
普通預金	21,767,773	12,204,055	9,563,718
未収会費	80,000	350,000	△270,000
未収金	33,119,365	27,707,384	5,411,981
前払金	190,882	612,210	△421,328
商立品	995,687	858,378	137,309
立替金	54,593	65,023	△10,430
預け金	2,500	2,500	
流動資産合計	56,256,502	42,681,860	13,574,642
固 定 資 産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
その他の固定資産			
建物附属設備	1,160,848	1,368,528	△207,680
什器備品	164,307	1,834	162,473
保証金	1,770,558	1,770,558	
長期前払費用	108,204	287,980	△179,776
その他の固定資産合計	3,203,917	3,428,900	△224,983
固定資産合計	23,203,917	23,428,900	△224,983
資産合計	79,460,419	66,110,760	13,349,659
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未払金	10,901,800	7,576,651	3,325,149
前受金	506,600	524,200	△17,600
預り金	2,631,991	1,948,684	683,307
未払消費税等	1,946,800	3,055,300	△1,108,500
未払法人税等	70,000	70,000	
流動負債合計	16,057,191	13,174,835	2,882,356
負債合計	16,057,191	13,174,835	2,882,356
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産			
正味財産合計	63,403,228	52,935,925	10,467,303
負債及び正味財産合計	79,460,419	66,110,760	13,349,659

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年 4月11日 最終改正 令和 6年12月20日
内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
合 計	20,000,000	0	0	20,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,595,159	1,434,311	1,160,848
什器備品	298,397	134,090	164,307
合 計	2,893,556	1,568,401	1,325,155

4. 重要な後発事象

(1) その他

なし

5. その他

(1) 表示方法の変更

なし

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000

2026年4月27日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 明石 要一 殿

監事 福龍 健一 
監事 中野 義人 

私たち監事は、第13期事業年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第 2 号議案 2026 - 2027 年度役員承認の件

理事候補者（計 14 名）

監事候補者（計 2 名）

※上記役員の一覧は、次頁参照のこと。

※上記役員の任期は、2026 年 5 月 26 日から 2028 年 5 月開催予定の第 53 回
通常総会日までとする。

一般社団法人協力隊を育てる会役員(案)

2026-2027年度

役員（定数 理事：15名以内 監事：2名以内）

	種別		氏名	所属
1	理 事		明石 要一	千葉大学名誉教授
2	理 事		上田 みどり	広島県海外協力隊を育てる会会長
3	理 事		山根木 晴久	公益財団法人日本生産性本部執行役
4	理 事		土井 章	元グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンCSO
5	理 事		白鳥 くるみ	アフリカ理解プロジェクト代表
6	理 事		市川 直美	公益社団法人日本青年会議所事務局長
7	理 事	新任	春田 雄一	日本労働組合総連合会（連合）総合運動推進局長
8	理 事		小井土 雄一	国立健康危機管理研究機構 厚生労働省DMAT事務局長
9	理 事		澤田 澄子	元キヤノン株式会社CSR推進部長
10	理 事	新任	太田 直宏	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
11	理 事		棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
12	理 事		星野 智子	一般社団法人環境パートナーシップ会議代表理事
13	理 事		松尾 直泰	一般財団法人日本青年館総務部部長
14	理 事		結城 和香子	読売新聞東京本社編集委員
1	監 事		中村 義人	公認会計士
2	監 事		福瀧 健一	千葉県JICA協力隊を育てる会監事

2025年度事業報告

2025年4月1日から2026年3月31日まで

一般社団法人協力隊を育てる会役員

2024-2025年度

役員

理 事	会長	明石 要一	千葉大学名誉教授
理 事	副会長	上田 みどり	広島県海外協力隊を育てる会会長
理 事	副会長	山根木 晴久	公益財団法人日本生産性本部執行役
理 事	常任理事	土井 章	元グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンCSO
理 事	常任理事	白鳥 くるみ	アフリカ理解プロジェクト代表
理 事		市川 直美	公益社団法人日本青年会議所事務局長
理 事		北野 眞一	日本労働組合総連合会副事務局長
理 事		小井土 雄一	国立健康危機管理研究機構 厚生労働省DMAT事務局長
理 事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事
理 事		田口 努	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
理 事		武下 悌治	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
理 事		棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
理 事		星野 智子	一般社団法人環境パートナーシップ会議代表理事
理 事		松尾 直泰	一般財団法人日本青年館総務部部长
理 事		結城 和香子	読売新聞東京本社編集委員
監 事		中村 義人	公認会計士
監 事		福瀧 健一	千葉県JICA協力隊を育てる会監事

顧問・参与

顧 問		足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
顧 問		木寺 昌人	元フランス、中国大使
顧 問		黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
顧 問		山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
顧 問		山本 信也	一般財団法人日本青年館理事
顧 問		水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
参 与		伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
参 与		井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
参 与		大塚 正明	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
参 与		大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
参 与		小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
参 与		小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
参 与		杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
参 与		高橋 成雄	NPO法人地球緑化センター顧問
参 与		谷川 与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
参 与		吹浦 忠正	NPO法人ユーラシア21研究所理事長
参 与		松岡 和久	公益財団法人CIESF副理事長
参 与		森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会副会長
参 与		森田 清隆	日本経済団体連合会国際協力本部長

2025年度事業方針

2025年4月1日から2026年3月31日まで

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点活動】

1. JICA海外協力隊員の社会還元の促進
2. 全国育てる会・JICA青年海外協力隊事務局等とのパートナーシップ強化
3. JICA海外協力隊の参加促進
4. 事業・活動基盤の安定化

【重点行動】

- ビジョン①帰国隊員の社会還元、社会貢献活動の支援
- ビジョン②JICA海外協力隊事業の知名度向上
- ビジョン③帰国隊員、全国育てる会関係者による地方議員連盟の結成
- ビジョン④財政の安定化（受託事業外の新事業の検討）

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動

1. JICA 海外協力隊員の 社会還元の促進

2. 全国育てる会と JICAとの パートナーシップ強化

3. JICA 海外協力隊の参加促進

4. 事業・活動基盤の 安定化

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの販売

視察の旅の
相談受付

カタログギフト、
グッズ等の販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハート
プロジェクト

帰国隊員支援
プロジェクト

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

WEB・SNSによる情
報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国時情報・事務
管理業務

浦安市国際セン
ター事業業務

総務活動

各種会議等の開催

会員管理

2025年度事業報告

2025年4月1日から2026年3月31日まで

【重点事業】

1. JICA海外協力隊員の社会還元促進

- 1) JOCV60周年記念「つながっちゃえ！JOCV60th～出会いから生まれる、新しい一歩～」のイベント開催

概要：イベントを通じてOVの持つ知見を共有し、協力隊事業の価値を広く発信する

主催：（一社）協力隊を育てる会

実施：（株）国際協力データサービス

	東京 11月15日	広島 12月6日	沖縄 12月13日	関西 2月1日	名古屋 2月8日	合計
参加者数	29名	34名	100名超	101名	74名	338名超

- 2) OVの社会還元活動の広報支援

- （1）町井恵理OV（ニジェール・帰国隊員支援プロジェクト受給者）

認定NPO法人AFRIMEDICO代表（富山の置き薬方式をアフリカで普及）

NHKワールドジャパンに紹介、タンザニア同行のテレビ取材が決定したものの、取材ビザが下りず断念

- （2）友松夕香OV（ブルキナファソ・帰国隊員等人材育成奨学金受給者）

著書『グローバル格差を生きる人々』（岩波新書、2025年6月発行）の広報協力

友松OV、明石会長、山本信也顧問、大石事務局長にて岩屋外務大臣を表敬訪問

（7月24日）

- （3）吉田美紀OV（セネガル、UNRWA）、佐藤直美OV（ベリーズ、JICA東北）

ガザ・釜石双方で風揚げを通じた友好関係の構築に取り組むOVが、

育てる会事務局来所

支援者である三菱UFJ国際財団の渡邊専務を招き、ガザでの支援活動状況の報告

（9月8日）

- （4）すずきじゅんいちOV（モロッコ、映画監督）他

映画『クロスロード』上映会の開催支援。映画上映後、3名のOVが協力隊経験を披露

（10月5日、練馬区「ココネリホール」）

(5) 三浦ななみOV（スリランカ、宮城県議会議員）

- ・協力隊OVによる地方議員のネットワークづくり、スリランカとの交流等について情報提供（10月10日、育てる会事務局）
- ・60周年東北ブロック記念式典にて三浦県議、吉田県議（岩手県、ポリビアOV）と意見交換（12月7日、ホテルメトロポリタン盛岡）

(6) 渡辺督郎OV（ソロモン、長崎県西海市）

第20回オーライ！ニッポン大賞・ライフスタイル賞受賞のインタビュー、広報
（10月29日、JICA協力隊事務局）

(7) OV議員ネットワーク設立準備会

- ・小泉県議（新潟県議）、石川県議（千葉県）、上橋市議（千葉県柏市）にてOV議員ネットワークについて意見交換（2026年2月3日、JICA市ヶ谷）
- 三浦議員（宮城県）、吉田議員（岩手県）を加えた、上記メンバーにて設立準備会の発足を確認（育てる会ニュースにて順次紹介）

2.全国育てる会、JICA青年海外協力隊事務局等とのパートナーシップ強化

1) 全国育てる会の総会等の積極的な参加と情報共有

(1) 埼玉国際青年を育てる会 令和7年壮行会

日付：2025年5月30日（土）
場所：伊勢丹浦和店（アズーリ クラシコ）
出席：土井常任理事

(2) 青年海外協力隊とちぎ応援団 2025年度総会

日付：2025年5月31日（土）
場所：とちぎ国際交流センター
出席：土井常任理事

(3) 北海道青年海外協力隊を育てる会 定期総会

日付：2025年6月1日（日）
場所：JICA北海道
出席：土井常任理事

(4) 福島県青年海外協力隊を支援する会 令和7年度通常総会

日付：2025年6月5日（月）
場所：郡山ビューホテル（郡山市中町）

出席：大石事務局長

(5) (一社) 青年海外協力隊プラザ・大阪 通常総会

日付：2025年6月6日(金)

場所：住友ビルB1(淀屋橋)

出席：上田副会長

(6) 神奈川県青年海外協力隊OV会 総会

日付：2025年6月8日(日)

場所：JICA横浜

出席：飯淵編集長

(7) 岐阜県青年海外協力隊を支援する会 総会

日付：2025年6月8日(日)

場所：岐阜駅構内2FハートフルスクエアG

出席：藤村事業課長

(8) 京都府JICAボランティア応援団 第10回(2025年度)定期総会

日付：2025年6月16日(月)

場所：ロイヤルパークホテル「ムッシュいとう」

出席：土井常任理事

(9) 広島県海外協力隊を育てる会 総会

日付：2025年6月16日(月)

場所：リーガロイヤル広島

出席：明石会長

(10) 千葉県海外協力隊を育てる会 総会

日付：2025年6月16日(月)

場所：船橋中央公民館

出席：明石会長

(11) JICAボランティアを支援するいわての会 総会

日付：2025年6月16日(月)

場所：いわて県民情報交流センター

出席：大石事務局長

(12) 茨城県青年海外協力隊を育てる会 令和7年度通常総会

日付：2025年6月29日(日)

場所：JICA筑波国際センター

出席：土井常任理事

- (13) にいがた青年海外協力隊を育てる会 総会

日付：2025年6月29日(月)

場所：新潟市万代市民会館4F

出席：明石会長

- (14) 埼玉国際青年を育てる会 2025年度1次隊JICA海外協力隊壮行会

日付：2025年7月8日(火)

場所：伊勢丹浦和店(アズーリ クラシコ)

出席：飯淵編集長、成松職員

- (15) 愛媛県青年海外協力隊を支援する会 総会

日付：2025年7月9日(水)

場所：ホテルマイルズステイ松山

出席：明石会長

- (16) 青年海外協力隊とちぎ応援団 2025年度1次隊員壮行会

日時：2025年7月30日(水)

場所：とちぎ国際交流センター、栃木県庁

出席：土井常任理事

- (17) 福井県青年海外協力隊等を支援する会 イベント

「福井発、つなぐ、つながる50年JICA海外協力隊！」

日付：2025年10月5日(日)

場所：福井県国際交流会館

出席：明石会長

- (18) 石川県青年海外協力隊を支援する会 設立30周年記念式典

日付：2025年11月8日(土)

場所：石川県女性センター

出席：明石会長

- (19) 青年海外協力隊とちぎ応援団 2025年度2次隊員壮行会

日時：2025年12月4日(木)

場所：とちぎ国際交流センター、栃木県庁

出席：土井常任理事

- (20) 愛知県青年海外協力隊を支援する会 令和7年度開発教育セミナー

日付：2025年12月6日(土)

場所：JICAなごや地球ひろば

出席：明石会長（講演）

（21）埼玉国際青年を育てる会 設立30周年交流会（兼2025年度2次隊壮行会）

日付：2025年12月6日（土）

場所：浦和伊勢丹（クローバールーム）

出席：熊野職員

（22）JICA海外協力隊発足60周年 東北ブロック記念式典

日付：2025年12月7日（日）

場所：ホテルメトロポリタン盛岡

出席：大石事務局長

（23）埼玉国際青年を育てる会 2025年度3次隊JICA海外協力隊壮行会

日付：2026年3月24日（火）

場所：伊勢丹浦和店（アズーリ クラシコ）

出席：明石会長

2）全国育てる会代表者会議の開催

日時：2025年11月14日（金）10：00～13：00

場所：JICA市ヶ谷（国際会議場）

出席：34組織（41名）、JICA協力隊事務局長他、役職員26名

概要：JICA海外協力隊発足60周年記念式典の翌日に開催

JOCV大塚事務局長の協力隊事業説明の後、各組織の注目活動等を報告

3）あおり応援団の組織再建について

日付：2025年11月11日（火）

場所：オンライン概要：2022年9月に奈良会長がご逝去されたため、

組織再編について準備中

JICA東北も支援いただけるとの連絡を頂き、現状と今後の方向性について大石事務局長とJICA東北、JICA青森デスクと意見交換

4）地方創生2.0

日時：2025年 7月16日（水）（第1回） 事業紹介、関係者の顔合わせ

2025年10月30日（木）（第2回） 地域おこし協力隊と青年海外協力隊

場所：JICA竹橋

概要：地方創生に携わる団体等のネットワーク構築 大石事務局長が第1回、第2回出席

3. JICA海外協力隊参加の促進

1) カレンダーの制作・販売

概要：帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

仕様：A4横／フルカラー／14枚綴り（28P）／オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数：6,500部

制作：5月～8月

販売：9月27日～3月31日

実績：一般545部、各県3,629部、名入れ820部

普及：オリジナルカレンダーを通じて、青少年団体、国際協力への関心層等に対して、積極的な協力隊応募勧奨を行う

2) 『クロスロード』の積極的な活用

概要：応募勧奨号（2月1日発行号）を積極的に活用し、協力隊参加の機運を高める
全国育てる会組織、青少年団体等を通じて関心層へ積極的に配布する

実施：通年

3) 映画『クロスロード』上映会にて協力隊事業の広報

概要：映画上映の後、3名のOV（うち1名は藤澤職員）が協力隊経験を披露
協力隊応募勧奨に協力。練馬区「ココネリホール」

実施：10月5日（日）

4. 事業・活動基盤の安定化

1) 安定的な実施体制の構築と業務の質向上

「独自 P A Y」「ふるまち P A Y」等、競争入札に頼らない安定的な収入確保の方策を検討する

2) 新規受託事業の応札準備

当会の活動と関係が深く、業務遂行が可能な案件の情報収集を行う

3) 遺贈寄附

故 寺田光子様より 4,880,738 円の遺贈寄附（2025 年 6 月 27 日）

三菱 U F J 信託銀行を通じて遺言執行。故寺田様と当会（または協力隊）との関わりは不明

【理解促進事業】

1) 企業、団体、政治家等と積極的に関わりを深め、協力隊事業について理解と支援をいただく

(1) 竹詰ひとし参議院議員（山根木副会長紹介）

日時：2025年4月7日（月）

場所：参議院議員会館

概要：大石事務局長、藤村事業課長にて訪問。ODA委員としてセネガルの協力隊員視察のお礼と意見交換

(2) 国光あやの衆議院議員（小井土理事紹介）

日時：2025年5月2日（金）

場所：衆議院議員会館

概要：大石事務局長が訪問。「育てる会ニュース」へのご寄稿を依頼

(3) NPO法人ふるさと回帰・支援センター訪問（山根木副会長紹介）

日時：2025年5月16日（金）

場所：ふるさと回帰・支援センター（高橋公理事長）

概要：山根木副会長、大石事務局長にて訪問。高橋理事長に「育てる会ニュース」へのご寄稿を依頼 青年海外協力隊事業との連携について意見交換

(4) （一社）アフリカ開発協会訪問

日時：2025年5月23日（金）

場所：アフリカ開発協会

概要：大石事務局長、藤澤職員にて長谷川事務局長を訪問
アフリカ開発会議に関する情報収集、意見交換。

(5) 木寺元大使（顧問）の話を聞く会

日時：2025年7月3日（木）

場所：都内レストラン（お茶の水）

概要：外交官（中国、フランス大使）としての経験を聞く。神津元連合会長、友松夕香OV、JOCV和田次長、明石会長、土井常任理事、結城理事、大石事務局長

(6) 菊地功枢機卿（東京大司教）

日時：2025年7月10日（木）

場所：東京カテドラル

概要：「育てる会ニュース」へのご寄稿を依頼

(7) 岩屋外務大臣（山本信也顧問紹介）

日時：2025年7月24日（木）

場所：外務省

概要：山本信也顧問、明石会長、大石事務局長、友松夕香OV（大分県出身）にて
表敬訪問

(8) 日産労連

日時：2025年8月28日（木）

場所：ゆうらいふセンター

概要：石濱職員が組合主催のイベントに参加。協力隊参加に係る意見交換

(9) 議員会館訪問

日時：2025年9月29日（月）

場所：議員会館

概要：大石事務局長、藤村事業課長にて約30名の国会議員事務所を訪ね、育てる会
カレンダーを配布（衆参議員）

(10) 連合定期大会出席（山根木副会長紹介）

日時：2025年10月8日（水）

場所：京王プラザホテル（新宿）

概要：明石会長、大石事務局長にて出席。関係者、国会議員等に協力隊および育てる
会の事業説明

(11) JICA議連会合出席

日時：2025年10月9日（木）

場所：衆議院会館

概要：JICA議連定期会合に大石事務局長が出席
育てる会の説明と11月13日の「60周年を祝う会」の案内

(12) キーコーヒー（株）来訪

日時：2025年10月21日（火）

場所：育てる会事務局

概要：コーヒー栽培の環境保全について協力隊事業との連携について意見交換
同社の川股会長（バングラデシュOV）から育てる会ニュースのご寄稿をいた
だくことになった（2026年1月号）

(13) FEC民間外交推進協会交流会出席

日時：2025年11月21日（金）

場所：帝国ホテル

概要：当会団体会員の交流会に石濱職員が出席

育てる会の説明と協力隊60周年について説明

(14) 連合2026新年交歓会出席

日時：2026年1月5日(日)

場所：アートホテル日暮里ラングウッド

概要：明石会長、大石事務局長、藤村、熊野、石濱職員が出席

木原官房長官、玉木代表他、出席者に協力隊事業と育てる会の活動を説明

(15) 第1回全国若手議員の会研修実施

日時：2026年1月27日(月)

場所：JICA東京

概要：全国若手市議会議員34名を対象に、自治体の国際化をテーマとした研修を実施 会場や宿泊先、講師の手配、当日の運営サポートを実施

講師：JICA東京所長、JICA青年海外協力隊事務局社会還元促進課、JICA海外協力隊経験者河内毅氏(グアテマラOV/新潟県長岡市/(公社)中越防災安全推進機構マネージャー/日本も元気にする青年海外協力隊OBOG会代表)・森栄梨子氏(ホンジュラスOV/群馬県甘楽町/NPO法人自然塾寺子屋 事務局長)、育てる会(大石事務局長・加藤、藤澤/進行)

(16) 外務大臣感謝状授与式出席

日時：2026年2月25日(火)

場所：外務省飯倉公館

概要：明石会長が出席

茂木外務大臣より帰国隊員に感謝状授与、関係議員、関係者にて懇親会等

(17) 青木愛参議院議員来所

日時：2026年3月4日(火)

場所：協力隊を育てる会事務局

概要：青木参議院議員(ODA委員、外交防衛委員会筆頭理事)と明石会長、大石事務局長にて意見交換

(18) 青木愛参議院議員ベレケの村(キルギスOV)視察

日時：2026年3月15日(土)

場所：ベレケの村(千葉県南房総市)

概要：青木参議院議員、小原秘書、大石事務局長にてキルギスOVの五十嵐夫妻が営

むべレケの村を視察、O Vを交えて意見交換

(19) 修養団設立120周年記念大会への出席

日時：2026年3月20日(木)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

出席：明石会長、大石事務局長

(20) アフリカ救援節食ディナー

主催：足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会

日時：2026年3月14日(土)

場所：足利市民プラザ

概要：参加者124名

第39回「アフリカ救援節食ディナー」にて、熊野職員から小さなハートプロジェクトにおけるこれまでの同ディナー収益金の活用状況を報告。

2) イベント等の開催

(1) 第50回通常総会・講演会の開催

演題：協力隊×教育「教育の原点とこれからを考える」

日付：2025年5月29日(木)

場所：連合会館

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

(2) 青年海外協力隊発足60周年記念プロジェクト 特別ドキュメンタリー試写会の開催

日付：2025年9月13日(土)

場所：聖心女子大学グローバル共生研究所 ブリット記念ホール(旧広尾訓練所)

概要：【第1部】クラウドファンディングによる映像制作の完成報告会および出演者の一人である望月久氏と、大塚事務局長によるトークセッション

【第2部】交流会

(3) JICA海外協力隊発足60周年記念式典の協力

日付：2025年11月13日(木)

場所：東京国際フォーラム

概要：育てる会関係者への案内状送付先の選定

スムーズに受付が進むよう育てる会職員が受付業務の補助、式典会場でのブース出展

(4) 「青年海外協力隊発足60周年を祝う会」の開催

日付：2025年11月13日（木）

場所：KKRホテル東京（瑞宝、平安）

概要：参加者約250名

JICA議連小淵会長（他国会議員約20名）、JICA田中理事長他JICA職員、JOCA雄谷会長他JOCA職員、全国の育てる会組織、OV会等
JICAより全国の育てる会、JOCA、OV会に対して感謝状贈呈

(5) 2026年「新春の集い」

日時：2026年2月3日（火）

場所：JICA市ヶ谷ビル 国際会議場

概要：「末次一郎と寒河江善秋が青年たちに託した想い―青年海外協力隊創設の源流を探る―」 全国から約100名が出席

講師：吹浦忠正参与（元末次一郎事務所長）、寒河江亮（寒河江善秋ご子息）

3) 協力隊関連グッズおよび書籍

(1) 協力隊Tシャツ、JOCAVバッジの販売

実施：通年

(2) 書籍『持続する情熱』の販売

実施：通年

4) 他団体主催イベントへの参加

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベントに参加し、JICA海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う

(1) 協力隊まつり2025主催：協力隊まつり実行委員会

日時：4月19日（土）、20日（日）

場所：JICA市ヶ谷

(2) グローバルフェスタ2025

主催：グローバルフェスタ実行委員会

日時：9月27日（土）、28日（日）

場所：新宿住友ビル 三角広場

5) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実施：通年

概要：就職や転職、進学等へのアドバイス

(2) 婚活イベント「婚活×JOCVカードゲーム」の実施

日時：2025年10月26日（日）

場所：サイボウズ株式会社（中央区）

概要：カードゲームで価値観の共有をしながら、16名の未婚OVを対象に運営。

(3) 進路支援イベント「キャリアデザイン×社会貢献」の実施

日時：2026年2月14日（土）

場所：JICA中部（愛知県名古屋市）

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する

支援金額：1件につき上限US\$3,000

支援件数：6件

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

寄附金募集期間：通年

	受給者名	隊次／派遣国／職種	プロジェクト名称	実施状況
1	吉田 優香	2023-2 ウガンダ 小学校教育	卓球を通して、スラムの子ども達に明るい未来を！	2025.9 完了
2	石橋 裕次郎 中原 通子	2023-4/20 24-2 エチオピア 木工／小学校教育	「ぐらぐらの机にさようなら」～子どもたちの集中力を高める学習環境づくり～	実施中

3	相坂 智紗子	2024-2 マレーシア 作業療法士	10代の知的障害者のエンパフメント を目指した性教育ツールの開発と導入	実施中
4	石井 沙知	2024-1 マラウイ 看護師	マラウイの小児病棟の子供たちに綺麗なベッドを！	実施中
5	北山 敦裕 小林 虹矢	2024-2 PNG 青少年活動	みんなでつながる図書プロジェクト！	資金 収集中
6	瀬瀬 夏望	2024-1 ガーナ コミュニティ開発	みんなの図書室づくり～学びを子どもたちへ～	資金 収集中

* 上記の他に、申請にあたり調整・確認中案件数：2件

* 支援団体である「全国電力関連産業労働組合総連合（電力総連）」を訪問し、年1回報告会を実施

* 支援団体である「足利市ボランティア協会・足利市社会福祉協議会」が実施するアフリカ節食ディナー」の機会に実施報告

* 支援団体である「国際ソロプチミスト東京一山の手」に対し、贈呈式において年1回実施報告

* 支援団体である「足利市ボランティア協会・足利市社会福祉協議会」の関連団体「足利市国際交流協会」からの、同会会員向け会報紙「シンフォニー」への寄稿依頼に対応
足利市を含む栃木県出身OVを紹介し同OVへの寄稿依頼、原稿確認等を実施し、当会から交流協会へ入稿、協力隊事業広報に貢献（2025年8月号、2026年2月号）

2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱UFJ国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する

支援金額：1件につき上限500,000円

支援総額：3,150,000円

募集期間：7月1日（火）～8月31日（日）

審査選考：10月16日（木）選考委員会にて実施

採択件数：8件（協力活動2件、調査・研究6件）

<協力活動>

	受給者名	派遣国／職種 ／隊次	プロジェクト名称	活動地域
1	大河原 花子	ベナン 青少年活動 2019-2・2 022-7	トリベ孤児院・宿泊型ソーシャルビジネスによる持続可能な運営支援プロジェクト	ベナン
2	越智 佳織 (旧姓 本田)	マラウイ コミュニティ開発 2015-2	マラウイ共和国ブランタイヤ県農村部における障害のある子どもへの支援事業	マラウイ

<調査・研究>

	受給者名	派遣国／職種 ／隊次	プロジェクト名称	活動地域
3	司 涼	コロンビア 環境教育 2018-4	持続可能な観光都市への転換～メデジンの政策変遷と社会的影響の検証～	コロンビア
4	多田 康記	PNG 理科教育 2015-1	学びのユニバーサルデザインによる自律的な学習者への変容	PNG
5	林 理紗	ルワンダ 陸上競技 2022-3	ルワンダの中等学校における体育科授業研究を用いた教員研修会の効果検証	ルワンダ
6	小杉 穂高	ケニア コミュニティ開発 2013-4	ナイロビ・スラムにおける気候変動下の衛生サービスのレジリエンス：ポジティブ・デビエンスの活用	ケニア
7	前田 賢哉	セネガル コミュニティ開発 2016-3	セネガル共和国の仕立て文化を創造する技法についての調査研究	セネガル
8	辻 翔吾	ホンジュラス 体育 2019-1	ペルーにおける体育を通じた非認知能力育成に関する研究－日本型体育を参照した教員研修の実践と効果－	ペルー

*プロジェクト実施終了後概ね1年を経過した10名に対し、三菱UFJ国際財団との3者面談を実施（11月～12月オンライン）

3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する

支援金額：上限80,000円まで

給付時期：4月7日

対象事業：以下の4事業

- ①会員拡大
- ②協力隊に参加し易く、またその経験を地域に活かす社会環境の整備
- ③広報・理解促進
- ④全国育てる会組織との連携

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する

発行数：約4,000部／毎月（赴任中の協力隊員にはPDF配信）

仕様：モノクロ／タブロイド版／4ページ

広告：JICA、大学等へ広告掲載の働きかけ

構成：1面～最新トピックス、有識者による時評

2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介

4面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

1面コラム(国際協力時評)		
4月号	竹詰 ひとし	参議院議員
5月号	国光 あやの	衆議院議員
6月号	富樫 透	山形県庄内町長
7月号	青 晴海	北海道文教大学副学長
8月号	高橋 公	(公社)ふるさと回帰・移住 推進機構理事長
9月号	田和 正裕	(一社)青年海外協力隊 プラザ・大阪会長
10月号	渡邊 博美	福島県商工会議所連合会会長
11月号	菊地 功	枢機卿
12月号	長野 信一	日本体操研究所長
2026年1月号	川股 一雄	キーコーヒー(株)会長
2026年2月号	廣川 正秋	にいがた青年海外協力隊を育てる会会長
2026年3月号	内山 彰彦	千葉県JICA協力隊を育てる会 会長

2) WEBやSNSによる情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、WEBやSNSを活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) イベントの告知
- (3) 各種支援事業の告知

4) 協力隊資料の収集と保存（アーカイブ事業）

1965年の事業創設から半世紀以上を経て、協力隊の貴重な資料が散逸しつつあるため、積極的に当会にて収集、保存し、その価値を広く発信していく

協力隊設立60周年（2025年）を迎え、収集した資料の整理を進める

（1）青年海外協力隊60周年記念 クラウドファンディングプロジェクト

「青年海外協力隊 日本の平和活動のはじまりを支えた初期隊員の言葉を映像に残したい！」

実施：2025年4月20日（日）～5月31日（土）

概要：アジア、アフリカ、中南米に派遣された草創期の隊員、及び協力隊事務局の関係者へのインタビュー動画の制作

結果：支援者318名、支援総額1,766,814円

9月13日（土）に旧広尾訓練所講堂にて特別試写会を開催

11月13日（木）の60周年記念式典、祝う会でも上映

リターン品として映像を収めたDVDを制作、配布

2026年4月1日より、JICA海外協力隊公式YouTubeにて一般公開予定

（2）初代隊員の情報収集

- ・故大樫哲夫隊員（カンボジア初代隊員、2025年2月逝去）

6月5日（木）、アルバム等遺品を奥様より寄贈（大石、藤村）

- ・大西規夫隊員（ラオス初代隊員）

7月9日（水）、JICA東京（幡ヶ谷）にてインタビュー
（大石、飯淵、阿部、藤村）

- ・故鋸谷勝隊員（フィリピン初代隊員）

9月22日（月）、育てる会事務局にご子息が来所、資料提供

【受託事業】

1) 2024－2026年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元に結びつけるべく、業務を遂行する

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局参加促進課

業務内容 : JICA 海外協力隊実践ガイド（年9号）、OBOG向け（年1号）、応募者向けガイド（年2号、うち1号は60周年記念誌『世界と日本を変える力』として発行の企画、取材、原稿執筆、編集、発行）

契約期間 : 2024年10月1日（火）～2027年9月30日（木）

専従職員 : 3名

2) 2024－2026年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務

帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、協力隊事業の社会的評価の向上に繋げるべく業務を確実に遂行し、安定的な財政基盤を構築する

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局社会還元促進課、海外業務第一課

契約期間 : 2024年4月1日～2027年3月31日

専従職員 : 12名

契約金額 : 218,816,648円（消費税込）

業務内容 :

- （1）進路検討支援業務（応募・進路相談、社会還元に係る講義、教育訓練手当、PARTNER 帰国隊員専用ページの閲覧申請、証明書発給等）
- （2）就職支援業務（求人对応、無料職業紹介事業、メール配信、自治体特別措置情報管理、UNV 推薦手続き等）
- （3）進学支援業務（入学特別措置情報管理、出願勧奨、奨学金支援制度等）
- （4）帰国隊員情報収集業務（個人情報入力、進路情報資料作成、現職教員特別参加制度参加者現況調査、JOCV マップ取りまとめ、メール配信、寄稿・出版・講演届、帰国隊員社会還元表彰式関連業務等）

(5) 社会還元基盤整備業務（全国の相談役業務支援、新任相談役向けオリエンテーション、相談役等全体会議、関東甲信越圏の相談役配置〔大石精一氏／協力隊を育てる会事務局長、矢島亮一氏／自然塾寺子屋理事長、河内毅氏／日本も元気にする青年海外協力隊OBOG会代表〕、寄附相談対応等）

(6) 事業理解促進業務

(ア) 経済団体、業界別団体等に対するボランティア事業の理解促進業務

1) 経済団体・業界団体等に対する事業紹介セミナーの実施

2) サポーター企業・団体等のネットワーキング促進

①大阪・関西万博「世界と日本を変える力〜」JICA海外協力隊と外国人材と共に地域を創る」

日時：2025年4月25日（金）

場所：大阪・関西万博（大阪府夢洲）

参加：藤澤職員、峰元職員

②第3回JICA海外協力隊社会還元表彰式ネットワーキングイベント

日時：2025年7月14日（月）

場所：JICA本部（麹町）

出席：山根木副会長、白鳥理事、大石事務局長ほか育てる会職員6名

③第1回全国若手議員の会研修「自治体の国際化に向けて」

日時：2026年1月27日（火）

場所：JICA東京（渋谷区）

出席：藤澤職員

④社会還元表彰現場視察会

日時：2026年2月19日（木）、20日（金）

場所：JICA中部（名古屋）ほか協力隊活動現場

出席：藤澤、加藤職員

(イ) 日本も元気にする JICA 海外協力隊リーフレット・サポーター宣言・自治体向け広報誌での記事掲載

(ウ) JICA 海外協力隊体験プログラムコーディネーター業務

派遣国：ガーナ、マラウイ

参加者：大学・大学院生15名

派遣前訓練：2025年12月6日（土）、7日（日）JICA東京

派遣前報告会：2025年2月10日（火）

海外派遣：2月15日（日）～3月7日（土）

帰国後報告会：3月24日（火）

3) 浦安市国際センター事業

上記センターの指定管理業務を共同企業体と実施する。

委託元：浦安市

共同企業：公益社団法人青年海外協力協会

業務内容：国際センターの運営補佐（多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等）

契約期間：2022年4月より4年間（本年度は最終年） 当会の専従職員：1名

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する

(1) 第50回通常総会

日時：2025年5月29日（木）

場所：連合会館

【プログラム】

第1部 通常総会（14:00～15:30）

第2部 講演会「教育の原点とこれからを考える」（16:00～17:30）

講師：田仲永和（君津市教育センター主査／マラウイOV）

第3部 交流会（18:00～19:30）

(2) 理事会

第1回 日時：2025年5月9日（金） 15:00～17:00

場所：連合会館（401会議室）

内容：2024年度事業報告、決算報告

第2回 日時：2025年12月15日（月） 15:00～16:30

場所：連合会館（402会議室）

内容：事業報告、収支報告

第3回 日時：2026年3月9日（月）

場所：連合会館（402会議室）

内容：2026年度の事業計画・収支予算（案）、役員改選

(3) 常任理事会

第1回 日時：2025年6月9日（月）15:00～17:00

場所：育てる会事務局

内容：理事の業務分担について、職員の待遇について

第2回 日時：2025年11月4日（火）13:30～15:30

場所：育てる会事務局

内容：全国代表者会議、60周年を祝う会について

第3回 日時：2026年2月24日（火）13:30～15:30

場所：育てる会事務局

内容：次年度の事業計画・収支予算、役員改選について

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日時：2026年2月3日（火）15:00～19:00

場所：JICA市ヶ谷ビル（国際会議場）

概要：「末次一郎と寒河江善秋が青年たちに託したもの―青年海外協力隊創設の源流を
探る―」

寒河江亮氏（寒河江善秋氏ご子息）

吹浦忠正氏（元末次一郎事務所長）

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開催：随時

場所：都内

3) 反保直子様（故足立顧問のご令嬢）との面談

日付：2025年10月15日（水）

場所：麻布十番（納骨堂）

概要：明石会長、上田、山根木副会長、大石事務局長にて反保直子様と懇談。

その後、納骨堂にて故足立顧問の慰霊碑参拝

4) JICA慰霊式

日時：2025年10月29日（水）16:00～16:30

場所：JICA市ヶ谷ビル（国際会議場）

概要：ご遺族（3家族・4名）、JOCA、育てる会の代表、JICA理事長以下、
部門責任者が慰霊碑に献花

同日、慰霊式に先立ち、ご遺族、JOCV総務担当次長、育てる会代表、JOCA職員
にて広尾慰霊に献花

5) 故川島氏の墓参

日付：2025年11月15日（土）

場所：総武霊園（千葉県）

概要：タンザニアバス事故で亡くなられた故川島隊員、および同隊員のお父様（青遺海の会副
会長）を偲び、墓碑参拝。北海道～鹿児島まで関係者18名が参加。参拝後の懇親会に
はJOCV大塚局長、和田次長も参加

6) 派遣隊員へのガイダンス

実施：2025年5月 8日（木）…2025年度1次隊

2025年9月24日（水）…2025年度2次隊

2026年1月 9日（金）…2025年度3次隊

場所：オンライン（駒ヶ根・二本松訓練所同時中継）

概要：事務局員・クロスロード編集部より、育てる会活動の説明、ならびに情報提供を依頼
同情報より、留守家族向け入会案内発送（受託県分含む）

7) 会員現況

会員種別		会員数
社団法人 協力隊を育てる会	個人	214（入会数15）
	団体	88（入会数0）
	法人	20（入会数0）
	計	322会員
全国育てる会	個人／団体／法人	1,893会員
合 計		2,215会員

* 社団分の留守家族へ入会案内発送：3回／年（各隊次の訓練終了後）

* 会費および会員管理について会費PAY導入検討中

8) 訃報等

- (1) 足立房夫（一般社団法人協力隊を育てる会顧問）
5月6日逝去、89歳
- (2) 内山博之（一般社団法人青年海外協力隊プラザ・大阪前会長）
6月15日逝去、84歳
- (3) 伊東幹雄（千葉県 JICA 協力隊を育てる会会長）
7月20日逝去、79歳
- (4) 河本英典（びわ湖 JICA ボランティア応援団会長）
11月29日逝去、77歳
- (5) 高橋成雄（一般社団法人協力隊を育てる会参与）
2026年1月23日逝去、95歳

9) 遺贈寄附

故 寺田光子様より4,880,738円の遺贈寄附（2025年6月27日）

備考：三菱UFJ信託銀行を通じて遺言執行。故寺田様と当会（または協力隊）との関わりは不明

10) 人事

各県組織

福島県 会長 須佐嘉夫⇒渡邊博美（福島県商工会議所連合会会頭）
千葉県 会長 伊東幹雄⇒内山彰彦（保護司）
新潟県 会長 芳賀友信⇒廣川正秋（（株）アルファブライト代表取締役）
大阪府 会長 内山博之⇒田和正裕（大阪大学教授）

（一社）協力隊を育てる会

採用

川本晃子（4月1日、嘱託職員、事務局）
仙田哉子（4月1日、嘱託職員、JICA竹橋）
成松佳子（6月1日、嘱託職員、クロスロード編集室）
甲斐克子（10月28日、臨時職員、クロスロード編集室）
熊野寛子（12月1日、正職員、JICA竹橋）

休職

馬場はるか（５月１６日～２０２６年３月３１日、産前・産後、育児休業）

解職

仙田哉子（９月３０日、嘱託職員、ＪＩＣＡ竹橋）

川本晃子（２０２６年３月３１日、嘱託職員、事務局）

以上

【２０２５年度事業報告附属明細書について】

２０２５年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条第３項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

2026年度事業計画

2026年4月1日から2027年3月31日まで

2026年度事業方針

2026年4月1日から2027年3月31日まで

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

【重点事業】

1. 協力隊を育てる会設立50周年を通じた全国育てる会との連携強化
2. JICA海外協力隊員の社会還元の促進
3. JICA海外協力隊の参加促進
4. 事業・活動基盤の安定化

【通常事業】

1. 理解促進事業
2. 助成事業
3. 広報事業
4. 受託事業
5. 総務活動

協力隊を育てる会の使命

JICA 海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点事業

1. 50周年を通じた
全国育てる会との
連携強化

2. JICA海外協力隊員の
社会還元の促進

3. JICA海外協力隊員の
参加促進

4. 事業・活動基盤の
安定化

理解促進事業

各種イベント開催

カレンダーの
販売

視察の旅の相談受
付

カタログギフト、
グッズ等の販売

他団体との連携

帰国隊員の
進路支援

助成事業

小さなハートプロ
ジェクト

帰国隊員支援プロ
ジェクト

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

WEB・SNSによる情
報発信

受託事業

クロスロード
編集・発行業務

帰国時情報・事務
管理業務

総務活動

各種会議等の開催

会員管理

2026年度事業計画

2026年4月1日から2027年3月31日まで

【重点事業】

1. 協力隊を育てる会設立50周年を通じた全国育てる会との連携強化

設立50周年の節目に、半世紀にわたる活動の歩みを総括するとともに、全国育てる会のネットワークを再確認し、次の50年に向けた協力隊支援の基盤を強化する

1) 全国巡回プロジェクト「出張育てる会（仮称）」の実施

1年をかけて全国各地を訪問し、地方組織との直接的な交流を図る

- ・各県イベントへの参加

各県育てる会の特徴ある活動・イベントに役職員が出張し、参加する

- ・ブロック会議の開催

出張先及び近隣組織を集めた意見交換会を行い、地域を超えた連携を促進する

2) 設立50周年記念式典の開催

全国巡回の締めくくりとして、50周年記念式典、全国育てる会代表者会議を開催する（例年実施している「新春の集い」との併催）

実施：2027年2月

場所：JICA市ヶ谷（国際会議場）

3) 広報媒体、記念グッズ等の政策

- ・育てる会を紹介する動画・パネル等の作成

- ・記念切手の制作・販売等

2. JICA海外協力隊員の社会還元促進

1) 協力隊OVの社会還元活動への支援と広報

実施：通年

概要：イベント開催等を通じた活動広報

国会議員、マスコミ、各団体等に協力隊事業の価値を伝える

2) イベント等の開催

(1) 第51回通常総会・講演会の開催

演題：JICA海外協力隊と地域おこし協力隊

日時：2026年5月26日（火）14：00～

場所：連合会館

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

3) ネットワーキングイベントの実施

実施：JICAと連携して協力隊事業の理解促進イベントを開催

概要：各種イベント、会合等の場を利用して、年4回程度企画

3. JICA海外協力隊参加の促進

1) カレンダーの制作・販売

概要：帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

仕様：A4横／フルカラー／14枚綴り（28P）／オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数：6,000部 ※予定

制作：5月～8月

販売：9月中旬 ※予定

普及：オリジナルカレンダーを通じて、青少年団体、国際協力への関心層等に対して、積極的な協力隊応募勧奨を行う

2) 『クロスロード』の積極的な活用

概要：応募勧奨号（2月1日、8月1日発行号）を積極的に活用し、協力隊参加の機運を高めるため、全国育てる会組織、青少年団体等を通じて関心層へ積極的に配布する

実施：通年

4. 事業・活動基盤の安定化

1) 受託事業の確実な履行と新規案件の応札

実施：通年

概要：「クロスロード」誌編集・発行業務の確実な実施と内容の充実

「帰国隊員支援業務」の確実な実施

育てる会の活動と親和性の高い受託業務への積極的な応札と準備態勢の構築

2) 受託業務に頼らない安定収入の模索

実施：通年

概要：寄附勧奨、「独自 P a y」等の紹介事業等の新たな収入源確保の模索

【理解促進事業】

1) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業への理解を深めるため、下記のグッズ、書籍を販売する

(1) 協力隊Tシャツ、JOCVバッジの販売

実施：通年

(2) 書籍『持続する情熱』の販売

実施：通年

2) 他団体主催イベントへの参加

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う

(1) 協力隊まつり2026

主催：協力隊まつり実行委員会

実施：4月18日（土）・19日（日）

場所：JICA市ヶ谷

(2) グローバルフェスタ2026

主催：グローバルフェスタ実行委員会

実施：9月末～10月初旬

場所：未定

(3) アフリカ救援節食ディナー

主催：足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会

実施：2027年2～3月

場所：足利市民プラザ

3) 帰国隊員の進路支援就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う

実施：通年

概要：就職や転職、進学等へのアドバイス

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する

支援金額：1件につき上限US\$3,000

支援件数：未定

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

大口支援団体への報告：通年

2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱UFJ国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1件につき上限500,000円

支援総額：2,700,000円～3,150,000円

募集期間：7月1日（水）～8月31日（月）

審査選考：選考委員会にて10月頃実施

プロジェクト終了後面談：当会調整のもと、受給者と国際財団ご担当者が面談（1月頃実施、オンライン）

3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する

支援金額：上限80,000円まで

給付時期：2027年4月

対象事業：以下の4事業

①会員拡大

②協力隊に参加し易く、またその経験を地域に活かす社会環境の整備

③広報・理解促進

④全国育てる会組織との連携

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する

発行数：約4,000部／毎月（赴任中の協力隊員にはPDF配信）

仕様：モノクロ／タブロイド版／4ページ

構成：1面～最新トピックス、有識者による時評

2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介

4面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

2) WEBやSNSによる情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、WEBやSNSを活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する

- （1）全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- （2）帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- （3）各種支援情報の提供

3) メールングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する

- （1）カレンダー写真の募集
- （2）帰国報告会等講師の募集
- （3）各種支援事業の告知
- （4）就職・進学情報の告知
- （5）各県組織からの情報提供
- （6）会員団体からの情報提供

4) 協力隊資料の収集と保存（アーカイブ事業）

1965年の事業創設から半世紀以上を経て、協力隊の貴重な資料が散逸しつつあるため、積極的に当会にて収集、保存し、その価値を広く発信していく。

【受託事業】

1) 2024－2026年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元に結びつけるべく、業務を遂行する

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局参加促進課

業務内容 : JICA 海外協力隊実践ガイド（年9号）、OB OG 向け（年1号）、応募者向けガイド（年2号）の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約期間 : 2024年10月1日～2027年9月30日

専従職員 : 3名

2) 2024－2026年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務

帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、協力隊事業の社会的評価の向上に繋げるべく業務を確実に遂行し、安定的な財政基盤を構築する

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局社会還元促進課、海外業務第一課

業務内容 : 進路検討支援業務、就職支援業務、進学支援業務、帰国隊員情報収集業務、社会還元基盤整備業務、事業理解促進業務

契約期間 : 2024年4月1日～2027年3月31日

専従職員 : 12名

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する

（1）第51回通常総会

開催日 : 5月26日（火）14:00～20:00

場 所：連合会館

【プログラム】

第1部 通常総会（14：00～16：00）

第2部 講演会（16：30～18：00）

第3部 交流会（18：30～20：00）

（2）理事会

年3回の開催（5月、12月、2027年3月）

（3）常任理事会

適宜開催

（4）顧問・参与会議

適宜開催

2）各種会議の開催

（1）「育てる会創立50周年記念式典」及び「全国育てる会代表者会議」

日時：記念式典 2027年2月 9日（火）

代表者会議 2027年2月10日（水）

場所：JICA市ヶ谷

（2）その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開催：随時

場所：都内

（3）隊員候補生へのガイダンス

実施：随時

場所：オンライン（駒ヶ根訓練所、二本松訓練所）

概要：育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

（4）帰国隊員への情報提供の呼びかけ

時期：随時

場所：オンデマンド、案内の郵送

概要：育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

3）会員管理業務

（1）（一社）協力隊を育てる会会員管理（個人）

実施：随時

概要：入会案内発送の発送、継続依頼発出、情報変更依頼対応、入金確認、退会対応

(2) (一社) 協力隊を育てる会会員管理 (法人・団体)

開催：随時。図書館への継続案内発出は4月、それ以外は総会終了後

概要：入会案内発送の発送、継続依頼発出、情報変更依頼対応、退会対応

(3) 会員管理受託県分の会員管理

実施：随時

概要：入会案内発送の発送、継続依頼発出、情報変更依頼対応、入金確認、退会対応、
受託県への預り金送金

4) 協力隊を育てる会ニュース、クロスロード発送業務

実施：毎月

概要：各県からのデータに基づく発送データの抽出ととりまとめを行う

発送委託業者へのデータおよび資料納入

発送先からの情報更新依頼対応、不達メール管理各県への発送リスト発信 (2回/年)

2026年度収支予算
2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2025予算 (A)	2026予算 (B)	(B)-(A)	備考
事業活動収入				
基本財産運用収入	10,000	30,000	20,000	定期預金
入会金収入	30,000	30,000	0	個人、法人、団体
会費収入	3,500,000	3,500,000	0	個人、法人、団体
研修会費収入	830,000	1,350,000	520,000	総会、新春の集い、50周年式典
広告料収入	2,500,000	2,500,000	0	育てる会ニュース
手数料収入	3,628,000	3,370,000	△ 258,000	各県クロス発送手数料他
カレンダー販売収入	3,500,000	3,000,000	△ 500,000	5千部
帰国隊員等支援受託収入	58,000,000	63,000,000	5,000,000	
クロス編集業務等受託収入	55,170,000	55,170,000	0	年12冊
その他受託収入	4,667,000	0	△ 4,667,000	社会還元促進支援業務(新規)
助成金収入	3,000,000	3,500,000	500,000	三菱UFJ国際財団
寄付金収入	2,600,000	2,350,000	△ 250,000	ハート、一般寄付
グローバルスプラウト	89,000	30,000	△ 59,000	
雑収入	7,000	87,000	80,000	
経常収益合計	137,531,000	137,917,000	386,000	
事業活動支出				
給与手当	49,862,000	51,433,000	1,571,000	正職員:4名、嘱託:6名、臨時:4名
退職掛金	925,000	1,114,000	189,000	中退共、特退共
福利厚生費	7,170,000	7,860,000	690,000	
旅費交通費	9,031,000	8,031,000	△ 1,000,000	体験プログラム(ガーナ、マラウイ)
通信運搬費	6,091,000	6,036,000	△ 55,000	クロス発送、ギガボット、Zoom
会議費	400,000	500,000	100,000	
修繕費	1,250,000	1,260,000	10,000	コピーカウント、PCメンテナンス、ネットワーク保守
印刷製本費	8,690,000	7,680,000	△ 1,010,000	クロス、カレンダー、ニュース
賃借料	5,255,000	5,255,000	0	家賃、OA機器リース、書類保管
光熱水費	500,000	500,000	0	電気、水道
保険料	280,000	293,000	13,000	ガーナ、マラウイ、火災保険、団体福祉
諸謝金	3,496,000	3,496,000	0	ガーナ、マラウイ、クロス他
消耗品費	200,000	200,000	0	
租税公課	5,500,000	7,000,000	1,500,000	消費税、人材紹介登録、登記
減価償却費	188,000	188,000	0	建物付属施設
仕入高	0	0	0	
支払負担金	2,449,000	2,042,000	△ 407,000	社労士、税理士、会費
支払助成金	8,350,000	8,550,000	200,000	三菱、各県助成、ハート
委託費	21,113,000	20,313,000	△ 800,000	ライター、カウンセラー
雑費	5,281,000	5,166,000	△ 115,000	総会交流会、新春の集い
予備費	1,500,000	1,000,000	△ 500,000	
経常費用合計	137,531,000	137,917,000	386,000	
事業活動収支差額	0	0	0	

